

映像設定 — 画質

設定メニュー	説明
シャープネス	画質の鮮明さを設定します。 高、中、低から選択します。
明るさ	画面の明るさを設定します。   で調節して OK を押します。 設定範囲は-16～+16です。
コントラスト	画面のコントラストを設定します。   で調節して OK を押します。 設定範囲は-16～+16です。

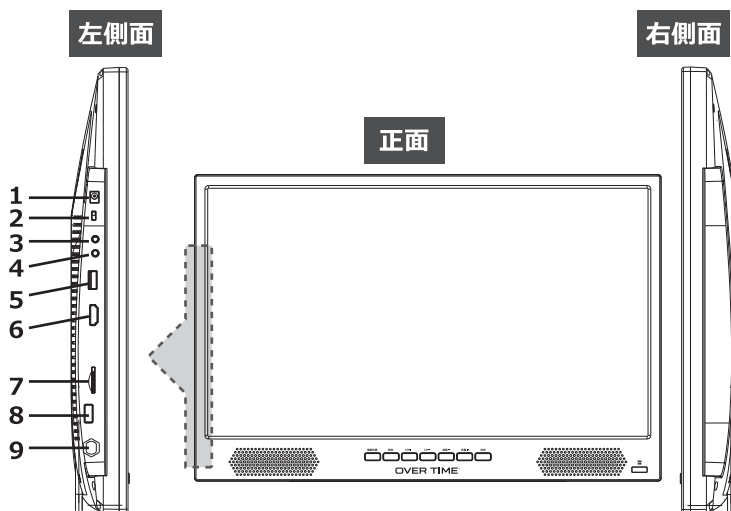
環境設定

設定メニュー	説明
音声言語	DVD再生時の音声言語を設定します。 英語、日本語から選択します。 ※ディスクのメニューで設定してください。 ディスクメニューで設定した言語が優先されます。
字幕言語	DVD再生時の字幕言語を設定します。 英語、日本語から選択します。 ※ディスクのメニューで設定してください。 ディスクメニューで設定した言語が優先されます。
ディスクメニュー	DVD再生時の字幕言語を設定します。 英語、日本語から選択します。 ※ディスクのメニューで設定してください。 ディスクメニューで設定した言語が優先されます。
初期設定	リセット：各設定を工場出荷時に戻します。

各部端子などの名称（本体側面部）

本体の左右にあるスイッチや端子の名称です。アンテナや外部機器と接続する際は各機器に対応した各端子と接続してください。

- (1) DC 電源入力端子
- (2) 主電源スイッチ (ON/OFF)
- (3) イヤホン出力端子
- (4) AV 入力端子
- (5) USB 入力端子
(* 外部データ再生用)
- (6) HDMI 入力端子
- (7) miniB-CAS カード挿入口
- (8) USB 入力端子
(* 地デジ番組録画用)
- (9) アンテナ入力端子



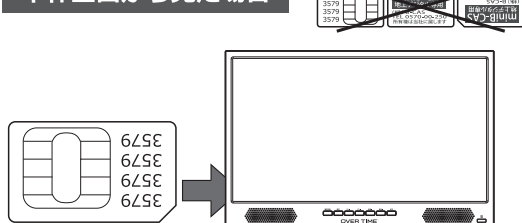
miniB-CAS カードの準備

地上デジタル放送を視聴する場合、miniB-CAS カードの常時挿入が必須です。下図を参照の上、カードの向きに注意しながら正しく挿入してください。

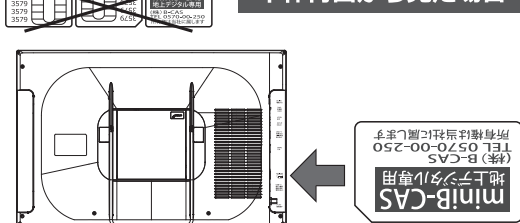
● miniB-CAS カードの正しい挿入方向：

カードの「角欠け部分」を下に向け、「角欠け部分」から挿入してください

本体正面から見た場合



本体背面から見た場合



挿入の方法

- ・ miniB-CAS カードの挿入方向を確認し、「カチッ」と音になるまでまっすぐに押し込んでください。
- ・ miniB-CAS カードを取り出す際は、カードの中央部を押し、まっすぐに引き出してください。
(カードの挿入／取出しをする時は、急に指を離さないでください)



注意

- カードの抜き差しは本機を電源コンセントからを外した状態で行ってください。
- miniB-CAS カードスロットにはカード以外の物を挿入しないでください。
- miniB-CAS カードの IC (集積回路) 部には手を触れないでください。

※miniB-CAS カードの取扱いにつきまして、詳しくは miniB-CAS カードの封入用紙をご覧ください。

※miniB-CAS カードの故障、破損、紛失などについてのお問合せ先：

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ／B-CAS カスタマーセンター TEL：0570-000-250

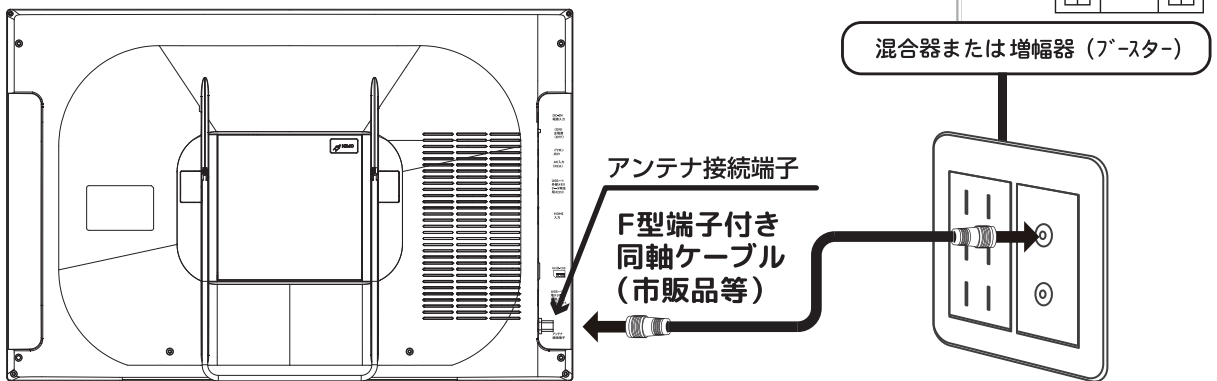
地上デジタル放送の視聴 〈視聴前の準備〉

地デジ放送受信用アンテナとの接続

- 地デジ放送サービスのご視聴には受信用アンテナとの接続が必須です。各端子の形状などに注意して正しく取り付けてください。

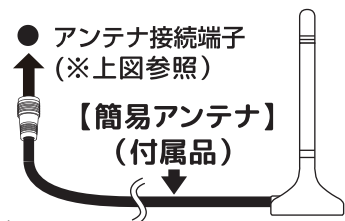
1. 放送局の登録設定を行う場合(P.24～26参照) 屋内などでご視聴される場合

- 室内用の受信力の高いアンテナと本機を『F型端子付同軸ケーブル（下図）』を利用して接続してください。



2. 屋外などでご視聴される場合(付属の簡易アンテナを利用)

- 付属品のアンテナは簡易的なものです。ブースター（電波増幅装置）等は内蔵されていない為、屋内・地下・山間部等の電波が微弱な場所ではご視聴いただけない場合があります。この場合（1）の通り、受信力の強いアンテナと接続してください。



注意

※本機は一般的な UHF アンテナとの接続により地デジ放送をご視聴いただけます。CATV（ケーブルテレビ）で伝送されている場合や共聴システムで伝送されている場合、伝送方式によってはご視聴いただけない場合があります。詳しくはお住まい地域の CATV 会社や共聴システムの管理者（マンション管理者など）にお問合せください。

※アンテナ線を他の電気機器等に近接しないでください。受信障害の原因となる場合があります。

※付属品アンテナを利用した場合、他の機器（携帯電話やラジオなど）でTV視聴ができる場所でも、本機でご視聴ができるとは限りません。予めご了承ください。



注意

本製品に同梱されている外付けアンテナは**屋外用**の簡易アンテナです。

チャンネル受信局数の登録漏れなどを防ぐため、特に初回時のチャンネル登録設定の作業を行う際は**室内用アンテナ**との接続の上、設定・登録してください。

地上デジタル放送の視聴 〈放送局の登録〉



※当項目以降で記載する『ボタン』の名称（「XX」）は、主に『付属品リモコン』のボタン名称を記載しております。お手元に付属品のリモコンをご用意の上、ご参照ください。
（本体ボタンの場合「操作できない場合」や「該当ボタンがない」場合があります）

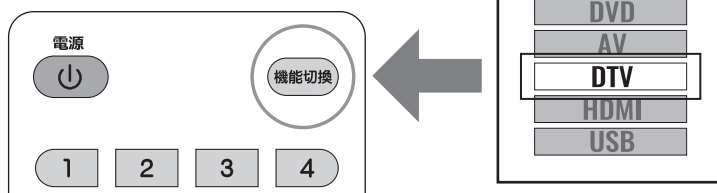


※付属品アンテナを利用してチャンネル登録作業を行う場合、設置場所等によっては「放送局が全く登録できない」「一部の局のみ登録される」などが起こる場合があります。
放送局の登録作業は「受信力の強いアンテナ」と本機を接続することを強く推奨しております。
※受信力が強いアンテナ（共同アンテナなど）と接続してCH登録や視聴ができる場合は機器本体（TVチューナー）の故障ではありません。テレビ番組の視聴には「設置場所の電波環境が安定している」「アンテナが電波を正しく伝送できる」の条件が必要です。「付属品アンテナで視聴ができない」などのお問合せは対応いたしかねますので、予めご了承ください。

放送局(CH/チャンネル)の検索 / 登録設定

- お買い上げ初期時やお引越し等で本機の設置する地域が変更された場合、設置されたエリアで受信可能な放送局（チャンネル）の登録が必要です。
以下手順に沿って受信局の登録作業を行ってください。

- ① 主電源オフ（OFF）の状態で「miniB-CAS」「アンテナ」が正しく接続されていることを確認します。（P.22～P.23 参照）
- ② 主電源をオン（ON）にして本体を起動し、「機能切換」ボタンで機器のモードを『DTV(テレビ)モード』に切り換えます。

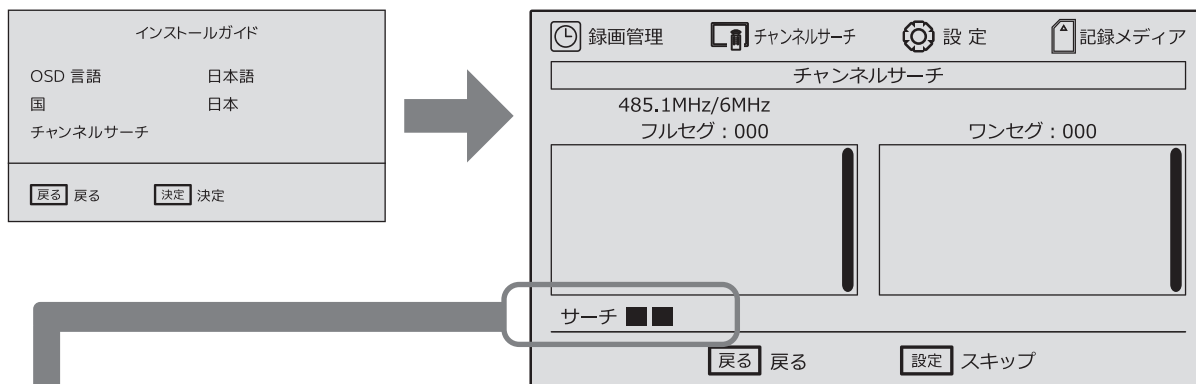


- ③ お買い上げ初期起動時は下記画面（インストールガイド）が表示されます。
OSD言語・国が『日本』であることを確認してから「OK」を押します。

インストールガイド	
OSD 言語	日本語
国	日本
チャンネルサーチ	
戻る	戻る
決定	決定

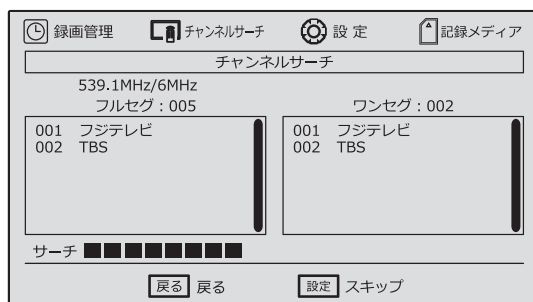
- ④ ③の通り「OK」ボタンを押すと画面が切り換わり、本機に登録可能な放送局の自動検索（チャンネルサーチ）が始まります。
- ⑤ 本機に放送局の登録された番組の放送が始まります。

(参照)CH 検索～登録設定の流れ



※CH検索中は上記枠内のメモリが左から徐々に増えていきます。
検索が終了するまで暫く時間がかかりますのでお待ちください。

※アンテナが放送局を受信できた場合、
放送サービス（フルセグ/ワンセグ）ごとに振り分けて自動で登録していきます。



放送局が登録された場合

- ※CHサーチ終了後、登録された番組放送が自動で始まります。
- ※受信レベルに応じた放送サービス（フルセグ又はワンセグ）で表示されます。
（放送サービスの優先度の設定については P.28 をご参照ください）



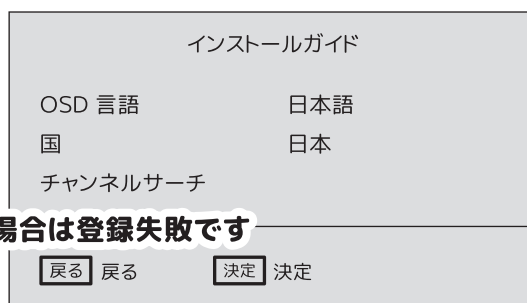
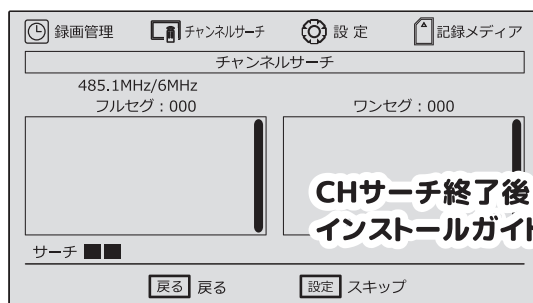
■ 登録局の確認

番組放送中に「OK」を押すと登録放送局のリストが表示されます。
リストに表示されていない放送局はご視聴いただけません。
登録漏れなどをご確認ください。

※リスト表示中の操作

「◀▶」: ワンセグ⇄フルセグのサービス切換え

「▲▼」: 登録局選択タグの移動 「決定」: 視聴チャンネル切換え



登録が失敗した場合

※放送局の電波が正しく受信されずにCH登録が失敗した場合は画面表示が『インストールガイド』に戻ります。

下記をご確認の上、再度チャンネルサーチを行ってください。

便利機能ボタン(サーチ)

サーチ

2回目以降のCH登録設定を行う場合、TVモード切換後に「サーチ」ボタンを押すだけでCH自動検索が始まります。

お引っ越しや長距離移動・登録再設定時に便利な機能ボタンです。

■ テレビ受信に必要な接続（アンテナ / miniB-CAS）を確認する(P.23～P.23参照)

■ 接続したアンテナの状態を確認する
(アンテナの場所や方向・共同アンテナやCATVの場合は伝送方法など)

(注) 屋根に設置されたアンテナの交換や方向調整などの作業は危険を伴いますので、電気店やアンテナ設置専門業者等にご相談ください。

集合住宅などの共同アンテナでブースターや減衰器などを増設する場合、他の部屋に影響がでる可能性がありますので、事前に管理者等とご相談ください。

⚠ 注意

※本機は一般的な UHF アンテナとの接続により地デジ放送をご視聴いただけます。

インターネット回線との接続による受信環境には対応しておりませんので予めご了承ください。

※CATV（ケーブルテレビ）会社や共聴システム等で伝送されている場合、伝送方式によっては本機ではご視聴いただけない場合があります。詳しくはお住まい地域（又はご契約）の CATV 会社や共聴システムの管理者（マンション管理者など）にお問合せください。

※チャンネル登録作業や屋内等でのご利用の際は「受信力の強いアンテナ」との接続を強く推奨しております。付属品アンテナを利用した場合、「放送局が登録できない」「受信が安定しない」などが起こる場合があります。

※付属品アンテナを利用した場合、他の機器（携帯電話やラジオなど）でTV視聴ができる場所でも、本機でご視聴ができるとは限りませんので予めご了承ください。

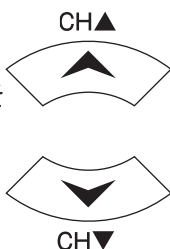
※受信力が高いアンテナ（共同アンテナなど）と接続してCH登録や視聴ができる場合は機器本体（TVチューナー）の故障ではありません。テレビ番組の視聴には「設置場所の電波環境が安定している」「アンテナが電波を正しく伝送できる」の条件が必要です。「付属品アンテナで視聴ができない」などのお問合せは対応いたしかねますので予めご了承ください。

地上デジタル放送の視聴 〈DTV(テレビ) モードの操作・設定〉

リモコンボタンの主な操作

① チャンネルの選局

「CH▲」「CH▼」 ボタンを押します。



② 音量の調整

「音量+」「音量-」 ボタンを押します。

＋
音量
－

③ 音声多重切換え

二ヶ国語（又は多重音声）放送の音声を切り換えます。

「音声」 ボタンを押します。

（※放送内容や番組により操作が無効となる場合があります）

「◀」「▶」 ボタンで切り換わります。 → 主主 → 副副 → 主副

音声

④ 字幕放送

デジタル放送の字幕や番組からのお知らせが表示されます。

「字幕（録音）」 ボタンを押します。

（※放送内容や番組により操作が無効となる場合があります）

録音

字幕

⑤ 番組表 表示

視聴中の番組情報を表示します。

1. 「番組表」 ボタンを押します。

2. 「▲」「▼」 ボタンで番組を選択すると右窓に上方が表示されます。

「◀」「▶」 ボタンで情報表示のページを移動します。

3. 「戻る」 ボタンで前の画面に戻ります。

番組表

⑥ DTV(テレビ)モードのメニュー設定

解像度や放送サービス（ワンセグ／フルセグ）優先度などを設定します。

「設定」 ボタンでメニュー画面を表示します。

（メニュー詳細 P.28 参照）

設定

⑦ 受信状況（レベル）の確認 （詳細 P.34 参照）

番組視聴中に「情報表示」 ボタンを押します。

放送局の受信レベルや状態が確認できます。

情報表示

1. 「情報表示」 ボタンを 1 度押すと『右上に視聴中放送局のチャンネル番号』
『下部に帯表示で番組名など』が表示されます。

（※CH 番号や帯表示はしばらくすると消えます）

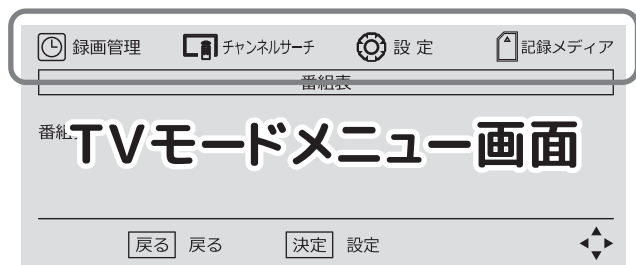
2. 「情報表示」 ボタンを 2 度押すと視聴中の番組詳細やアンテナ受信レベルが表示されます。

「◀」「▶」 ボタンで情報表示のページを移動します。

3. 「戻る」 ボタンを押すと視聴中の番組表示に戻ります。

DTV(テレビ)モードの設定メニュー

- 「設定」 ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

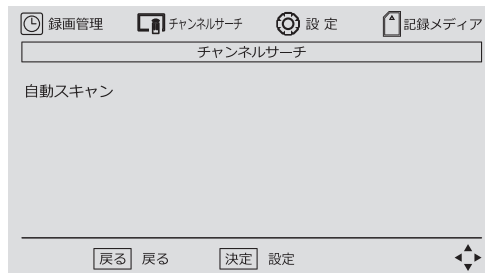


「◀▶」ボタンでタグ（ハイライト）を選択する項目に移動させてから「決定」ボタンを押します。

- 【録画管理】を選択すると録画に関する設定やリスト表示を行います。
（録画関連の詳細はP.30～P.33参照）



- 【チャンネルサーチ】を選択するとCH自動検索を開始します。
※「サーチ」ボタンと同機能です。
（CH検索／登録は P.26 参照）



- 【設定】を選択するとDTV(テレビ)モードの各種設定の調整や変更が可能です。

- 解像度：解像度を設定します ※初期値：1080P

↪ 480I → 480P → 720P → 1080I → 1080P ↩

- 受信切替：放送サービスの優先度を設定します

*自動（切替） *ワンセグ（固定） *フルセグ（固定） ※初期値：自動

（自動の場合、アンテナ受信レベルに応じて自動で受信サービスが切り替わります）

- 工場出荷時設定：工場出荷時状態に初期化します *「決定」スタート *「戻る」終了

（工場出荷時状態に初期化すると登録したデータは全て消去されます）

- デバイス情報：本機のシステム情報を表示します

- ファームウェア更新：カスタマーサポート用項目（通常お客様は使用しません）



画質や音声等の設定は全モード「DVD/AV/ DTV(テレビ)」に反映されます。
「画面が暗く感じる」「音質を変えたい」などの場合、本書 P.19～P.21の
【DVD 設定】項をご確認ください。

地上デジタル放送の視聴 〈録画機能を使う〉

＜番組録画（予約）機能について＞

録画機能をご利用いただく前に、下記をよくお読みになり正しくご理解の上、ご利用ください。

- 本機は＜シングルチューナー＞搭載モデルです。裏番組録画機能（視聴番組以外の番組録画機能）はありません。
- 本機には録画用ディスク（メモリー）は内蔵されておりません。
録画機能をご利用になる場合は、市販のUSBメモリーを別途ご用意ください。
- 本機で録画したデータは MTS ファイル（拡張子 .mts）として保存されます。
- 録画機能をご利用になる場合、「主電源が ON であること」「DTV(テレビ)モードであること」でのみ利用可能です。
主電源が OFF であったり、他のモード（DVD/AV）利用中の場合、録画機能は自動で起動や作動はしません。
特に録画の予約を設定している場合、他モードに切り換えたり主電源を OFF にすると TV モードが初期化される為、予約した時刻になっても録画されませんのでご注意ください。
- 録画中にモードを切り換えると、システムが切り換る為、録画が途中で強制終了します。
- 録画中は、録画中チャンネル以外の番組への切換えなどの操作はできません。
- 何らかの理由（主電源が切れた、受信レベルが落ちた、など）で録画が中断した場合、データが破損して再生できない場合があります。
- 番組ガイドは約 8 日後まで取得できます。番組ガイドで表示できない先の日付を予約される場合は「指定録画」で日時を指定してください。
- 同じ時間帯に重複した番組を録画することはできません。
- 録画したデータは本機以外の機器では再生できません。本機で録画したデータは本機でのみご視聴ください。
- コピー禁止の番組や外部機器（DVD プレーヤーなど）からの入力データを記録（録画）することはできません。
本機で受信したテレビ放送の番組のみ録画が可能です。
- 著作権保護の為、本機で録画したデータの移動やコピーは絶対に行わないでください。
- 故障などの理由で本機を修理や交換した場合、以前に記録した録画データは視聴できなくなる場合があります。
- 本機で録画した録画データは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内でお楽しみいただく以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。録画データを個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内でお楽しみいただく以外に、許諾なく複製や改変をしたり、インターネットなどで送信や掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
【録画した番組を自分のホームページや SNS などに載せる】 【録画した番組をメールなどで他人へ送る】
【録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸し出す】
- 著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もあります。録画機能やデータの取扱いは自己責任のもとでご利用ください。なお著作権法違反によって生じた損害などに関して、当社は一切の責任を負いません。

※録画機能をご利用になる場合、「主電源が ON であること」「DTV(テレビ)モードであること」でのみ利用可能です。
主電源が OFF であったり、他のモード（DVD や AV）利用中の場合、録画機能は自動で起動や作動はしません。特に録画の予約を設定している場合、他モードに切り換えたり主電源を OFF にすると DTV(テレビ)モードが初期化される為、予約した時刻になっても録画されませんのでご注意ください。

※録画機能をご利用になる場合、録画用として別途市販などの USBメモリー が必須です。本機側面にある録画専用スロットに USBメモリー が正しく装着されていない場合、録画機能は利用できません。



注意

※外部メディアはメーカーや型式によっては正しく読み込まない場合があります。この場合、他メーカーの型式の USBメモリー で読み込みが可能かをお確かめください。

※外部メディアについての作動保証およびサポートは行っておりません。予めご了承ください。

※リモコンで電源を OFF にした状態(待機状態)の場合は録画が可能です。
(本体の主電源スイッチを OFF/ 切にした状態での録画はできません。)

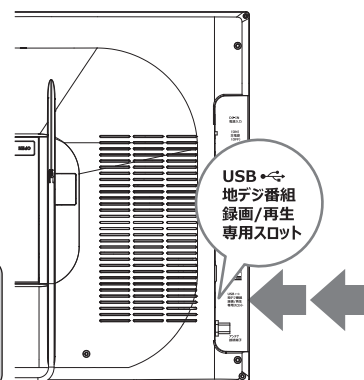
地上デジタル放送の視聴 《録画用メディアの準備》

録画機能を使用する場合、市販のUSBメモリーが別途必要です。
電気店などで別途ご購入の上、ご用意ください。

接続のしかた

図を参照に、USBメモリーを本機に正しく装着してください。

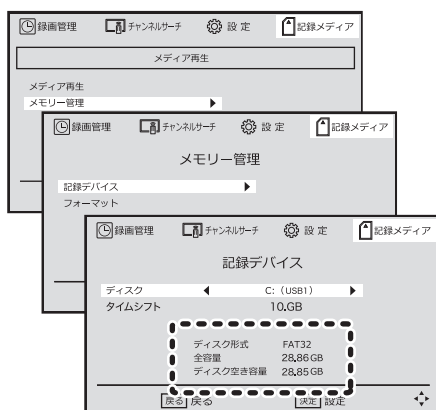
録画用 USB スロットに、挿入方向をご確認の上、
正しく装着してください。(奥までしっかり差し込んでください)



- ※録画用スロットに正しく装着してください。
- ※パソコンなどその他の機器で使用していたUSBメモリーを本機で使用した場合、保存されているデータは消去される場合があります。
- ※本機で録画保存したデータは他の機器では視聴/再生は行わないでください。

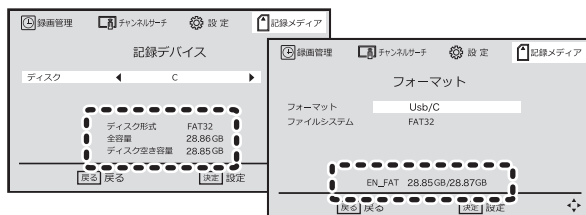
メディアの状態を確認する

下図を参照に、装着したUSBメモリーの状態を確認できます。



- ① リモコンの **OK** を押して設定メニューを表示します
- ② 「◀」「▶」で記録メディアにカーソルを合わせます
- ③ 「▲」「▼」でメモリー管理にカーソルを合わせて「OK」を押します
↓(メモリー管理画面に移行)
- ④ 「▲」「▼」でカーソルを記録デバイスに合わせて「OK」を押します
- ⑤ 記録デバイス (USBメモリー) の状態が表示されます
- ⑥ 「▲」「▼」「◀」「▶」で各カーソル移動/
「決定」で各項目を設定/「戻る」で前の画面に戻ります

*「正しくUSBメモリー装着していない」「本機でUSBメモリーを認識できていない」場合、
「メモリーデバイスがありません」と表示されます



装着したUSBメモリーが正しく認識されない場合、
下記ご確認ください。

- ① メモリー管理画面から、
＜記録デバイス＞または＜フォーマット＞に移行。
 - ② 枠内の情報を確認してください。
- ※点線枠内に現在装着中のUSBメモリーの状態が表示されます。



- 地デジ録画機能を使用する際はUSBメモリーの空き容量にご注意ください。
- ※USBメモリーの 空き容量が少ない場合、録画の予約ができません。また予約を設定して予約時間になった状態でUSBメモリーの空き容量が足りない場合、予約はキャンセルされて録画されません。
- ※USBメモリーの空き容量が 10MB を切ると全ての録画機能が使用できなくなります。

容量と録画時間

本機で USBメモリー に地デジ番組を録画する場合の大まかな目安です。

フルセグ録画	* 番組データ 1 秒あたり約 1.7MB の場合 ⇨ 容量 1GB あたり約 10 分間録画可 空き容量 15GB の USBメモリー を使用すると、合計約 2.5 時間分の番組を録画可
ワンセグ録画	* 番組データ 1 秒あたり約 0.04MB の場合 ⇨ 容量 1GB あたり約 7 時間録画可 空き容量 15GB の USBメモリー を使用すると、合計約 100 時間 (4 日分) の録画可

※大まかな目安です。放送番組のデータ量などにより変化しますので予めご了承ください。



- ※外部メディア (USB メモリー) はメーカーや型式によっては読み込まない場合があります。
- この場合、他メーカーや型式の USB メモリー で読み込み可能かをお確かめください。
- ※外部メディアについての作動保証およびサポートは行っておりません。予めご了承ください。

地上デジタル放送の視聴 〈録画関連機能の利用〉

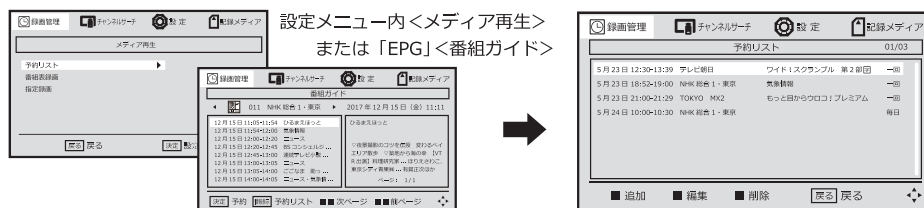
録画設定の優先順位について

録画機能の作動優先順位は以下の通りです。

「予約録画」 > 「ダイレクト録画」

* 「予約録画」とは番組表録画および指定録画で録画の予約を設定したものを指します。

録画予約を設定した日時や番組は〈予約リスト〉から確認や編集ができます。



* 録画予約を設定すると予約の設定が最優先設定となります。

※ 録画予約を設定する場合、予約設定時間の 5 分前までにダイレクト録画の停止をお勧めします。

(ダイレクト録画中に予約日時が来るとシステムに負荷がかかり、誤作動を起こす場合があります)

※ システムの誤作動等でリモコンや本体での操作が不能になった場合、一度本体主電源を切ってから再度電源を入れなおしてください。主電源を切ることでDTV(テレビ)モードシステムがリセットされます。

視聴中の番組を録画する(ダイレクト録画)

現在視聴中のテレビ番組を録画する方法です。



- ① 番組視聴中にリモコンの「**● 録画**」/録画」ボタンを押します。
- ② 画面中央に「レコーダー開始中、お待ちください」と表示後、録画が始まります。
- ③ 録画を停止する場合は、リモコンの「表示/戻る」ボタンを押します。

* USBメモリーの空き容量が足りない場合、「ディスク容量が満杯です、お待ちください」と表示され録画されません

* 録画中は画面左上に「録画中」と点滅表示されます。

日時を指定して録画予約する(予約録画)



- ① リモコン「メニュー/TV設定」を押して設定メニューを表示。
- ② 上段カーソルを「◀」「▶」で録画管理に合わせ「▲」「▼」で下段カーソルを指定録画に移動して「決定」。
- ③ 「▲」「▼」「◀」「▶」「数字ボタン」で予約録画したい放送局や日時を設定して「決定」。
- ④ イベント追加画面が表示されたら各項目を確認して「決定」。
- ⑤ 予約設定が成功すると予約リストが表示されます。

※ 予約リストが表示されたら設定を確認して「戻る」

※ リスト上の設定を編集したい場合はカーソルを合わせて「緑」

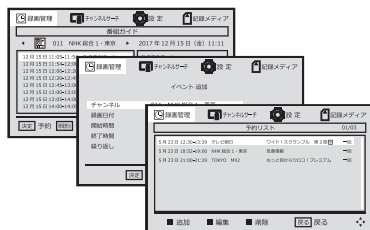
※ そのまま別の指定録画設定を行なう場合は「赤」

※ 予約設定を削除したい場合は予約項目にカーソルを合わせて「青」



録画機能をご利用になる場合、「主電源が ON であること」「DTV(テレビ)モードであること」でのみ利用可能です。主電源が OFF であったり、他のモード(DVD/AV)利用中の場合、録画機能は自動で起動や作動はしません。特に録画の予約を設定している場合、他モードに切り換えたり主電源を OFF にするとDTV(テレビ)モードが初期化される為、予約した時刻になっても録画されませんのでご注意ください。

番組表から録画予約する（予約録画）



- ① リモコン「番組表」で番組表を表示。
- ② 「▲／▼／◀／▶／赤／黄」で予約したい番組名に移動して「OK」。
- ③ イベント追加画面が表示されたら各項目を確認して「OK」。
- ④ 予約設定が成功すると予約リストが表示されます。



※＜設定メニュー＞→＜録画管理＞→＜番組表録画＞で、番組ガイドの表示や録画予約も可能です。



注意

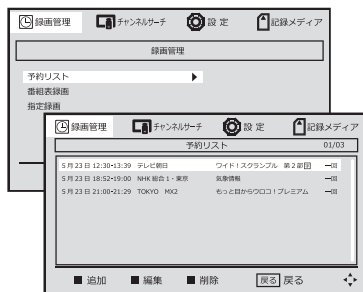
※番組表から録画の予約を設定した後に番組の延長や中止などで放送時間が変更になった場合、本機では自動的に録画時間の延長や番組移動による予約時間の変更などは行なわれません。このような場合は予約リストから予約設定した時間帯を選択の上、手動で編集を行ってください。

例

10:00～11:00 までの放送局＜A＞の番組＜B＞を番組ガイドから予約
→前の放送が急遽 10:30 まで放送延長になった為、番組＜B＞は 10:30 からの繰り下げ放送になった
*本機では予約時に設定した放送局＜A＞の 10:00～11:00 の放送が録画がされます

予約の確認・編集（予約リスト）

予約設定の確認や編集は予約リストから行います。



- 予約リストを表示する
 - ①リモコン「番組表」を押す（番組表表示）→「情報表示」を押す
 - ②＜設定メニュー＞→＜録画管理＞→＜予約リスト＞を選択
- 予約リストから確認や編集・削除などを行います。
 - *「赤」：リスト外の他の日時指定予約を追加します
 - *「▲」「▼」：リスト内のカーソルを移動します
 - *「緑」：カーソルで選択した予約の設定を編集します
 - *「青」：カーソルで選択した予約の設定を削除します
 - *「戻る」：一つ前の画面に戻ります

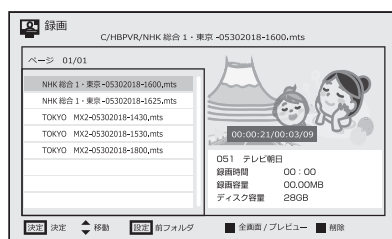
録画したデータの再生・削除

録画したテレビ番組データの再生や削除する方法です。

- USBメモリーはTV録画用USBスロットに接続します。
- 録画リストを表示する：以下の操作で録画保存したデータのリストを表示します。
 - *「メニュー/TV設定」＜設定メニュー＞→「◀」「▶」＜記録メディア＞→「▼」＜メディア再生＞を選択→「決定」
- 録画リストから再生や削除したいデータを選択・実行します。
 - *「▲」「▼」：リスト内のカーソルを移動
 - *「決定」：カーソル移動したデータを実行（再生）
 - *「▶II」：再生中データの一時停止／再生
 - *「戻る」：再生中データの停止
 - *「◀◀」「▶▶」：再生中データの早戻し／早送り
(押すごとに x2→x4→x8→x16→x32→解除)
 - *「◀◀◀」「▶▶▶」：再生中データの前データへ／次データへ移動
 - *「赤」：画面サイズの切換え（全画面表示⇄プレビュー表示）
 - *「青」：再生データの再生開始時間の設定（Go to time 機能※）

※Go to time 機能：録画データのスタート時間を指定して移動する機能です。

（例）録画時間 1 時間のデータで、40 分 10 秒後にスタート時間を指定して移動



- *「緑」：再生中データの手動コマ送り
- *「TV設定」：一つ上のフォルダへ移動
- *「戻る」：テレビ放送視聴に戻る

録画データを削除する

- 録画リスト内の削除したいデータにカーソルを合わせ「黄」を押します。
「決定」を一度押すと削除するか選択画面表示（決定／戻る）
決定を選択して「決定」を押すとデータ削除が実行されます



注意

一度削除したデータを復元することはできません。

タイムシフト機能を使う（便利機能）

＜タイムシフト機能とは ...＞

番組視聴中に「再生／一時停止」ボタンを一度押すと押したところで放送が一時停止し、停止した場面の続きから録画用メモリーに録画していきます。再度押すと一時停止した場面の続きから違和感なく視聴できる機能です。

【こんな時に便利】 ・好きな番組を視聴中「ちょっと用足しに行かないと」...
・ドラマなどのクライマックスシーンで「宅配便で～す！」...

リモコン「再生／一時停止」ボタンを押すと機能がスタートします

タイムシフト機能で使うリモコンボタンは「再生／一時停止」「停止」「決定」「戻る」です。

* タイムシフト機能の設定

●機能で使うメモリー容量の設定：

【設定メニュー】→【記録メディア】→【メモリー管理】→【記録デバイス】→【タイムシフト】の順に進み、「◀/▶」で0.5GB / 1.0GB / 1.5GB / 2.0GB / 2.5GB / 3.0GB / 3.5GB / 4.0GBから選択します。

■番組視聴中に「タイムシフト」を押すと ...



放送が一時停止状態になり

- ・画面左上に＜録画中＞
- ・画面中央右に＜一時停止マーク＞



一時停止状態の続きからデータ再生

- ・画面左上に＜録画中＞
- ・画面中央右に＜再生マーク＞
- ・画面下部に＜再生／録画バー＞



放送が一時停止状態になり

- ・画面左上に＜録画中＞
- ・画面中央右に＜一時停止マーク＞
- ・画面下部に＜再生／録画バー＞

* ＜再生／録画＞ステータスバー



* トータル時間表示：録画機能スタートから現在までの時間を表示します

* 一時停止／再生時間表示：機能スタートから何秒（分／時間）後に一時停止したか、または再生しているかを表示します

* 使用容量表示：設定したメモリー容量の中で、録画で使用中の容量（赤）と再生して空いた容量（青）を表示します
※一時停止状態で放置しておくで青で表示されている空き容量がだんだん減っていきます
空き容量が無くなると続きからの放送視聴はできなくなります

■タイムシフト機能を終了する場合：リモコン「停止」→「決定」で通常のテレビ視聴に戻ります。



注意

※録画用スロットに録画用メモリーが正しく挿入されていない場合や本機が認識できない場合、ディスクの空き容量が少ない（10MB 以下）の場合、録画に関する機能を使用しようとするとエラー表示が出て設定ができません。（＜メモリー設備なし＞ ＜予約無効＞ など）
エラー表示の原因をご確認の上、再度設定を行なってください。



注意

※外部メディア（USB メモリーや HDD など）はメーカーや型式などによっては認識されない場合があります。この場合、他メーカーや型式の外部メディアで読み込み可能かをお試しください。
※外部メディアについての動作保証やサポートは行っておりません。予めご了承ください。

※録画用メモリーについての詳細は P.29～「録画用メディアの準備」をご参照ください。

アンテナ受信レベルの確認

- 本機と接続したアンテナの受信レベルが低いと「映像が止まる（チラつく）」「音声が出ない（途切れる）」「フルセグで視聴できない」などの事象が起きる場合があります。下記操作手順でアンテナ受信レベルの確認が可能です。

番組視聴中に「情報表示」ボタンを2回押すと受信局情報（下図）が表示されます。



枠内の受信レベル表示バーをご確認ください。

※受信レベルが低い（約 20%以下）の場合やレベルが安定しない場合、本機と接続したアンテナの受信レベルが低い為、安定したご視聴が難しい状態です。アンテナ側の状態などをご確認ください。

※付属品の簡易アンテナをご利用されている場合、受信レベルが 30 ～ 40%以上で安定する場所を探してアンテナ部分を設置してください。（推奨受信レベル：50%以上）

※放送サービスの優先度が「自動切替」又は「フルセグ固定」に設定されている場合、受信レベルが低い場所では「画面のフリーズ」「音声が出ない」などの事象が起きる場合があります。（優先度の変更は P.28 をご参照ください）

⚠ 注意

※アンテナが正しく接続されていない場合、受信（視聴）はできません。

※建造物内、地下、トンネル、移動中の乗り物内、電波塔が無い（又は遠い）地域、地形、強力な電波を発信する施設の周辺、電波障害を受けやすい場所、その他電波の受信に影響を及ぼす場所などでは受信（視聴）できない場合があります。

※デジタル放送は受信レベルが低下すると「映像が止まる（乱れる）」「ブロックノイズが出る」「音声が出ない（途切れる）」など様々な事象が起こる場合があります。

※次の放送は受信（視聴）できません。

〈アナログ放送〉〈BS/CS 放送〉〈データ放送〉〈緊急警報放送〉

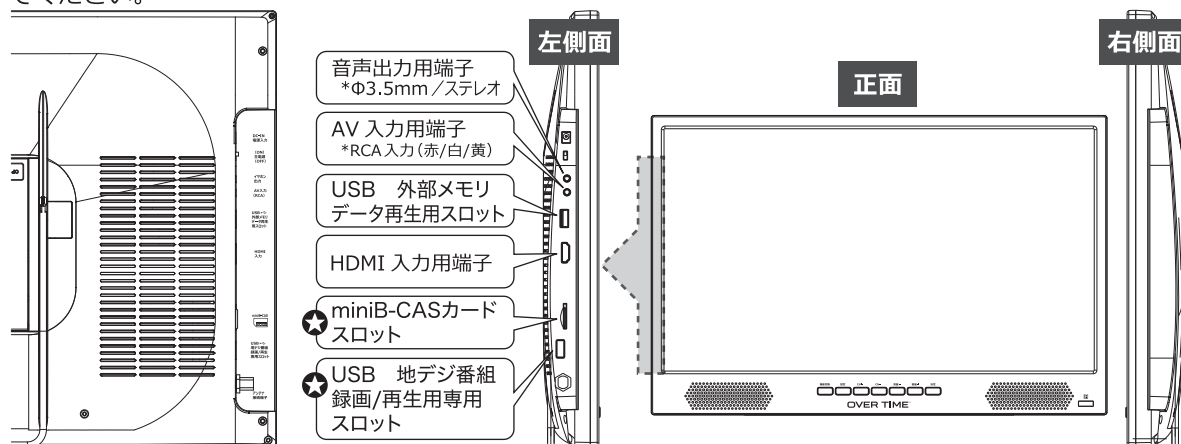
※放送エリアの目安は、社団法人デジタル放送推進協会のホームページをご参照ください。

※その他の不具合症状などが起きた場合、巻末のトラブルシューティングをご参照ください。

USB スロットについて

外部機器と接続する

外部機器と接続する場合、本体側面の各端子と接続します。接続したい外部機器に対応した各端子に接続してください。



ご注意) ☆ マークの挿入口はテレビ機能用のスロットです。外部機器やデータは再生できません。

イヤホン出力 ● 音声出力用端子： イヤホンや外付けスピーカーなどの外部機器と接続する際に使用します。

AV入力 (RCA) ● AV 入力用端子： 付属の AV ケーブルを使用して外部機器と RCA 接続する際に使用します。

USB 外部メモリデータ再生用スロット ● 外部データ再生用 USB スロット：
市販の外部メモリー (USB メモリーや HDD など) に、パソコンなどから取り込んだ音楽や動画のデータを本機で視聴・再生する際に使用します。 ※データ再生機能の詳細は P.29~ をご参照ください。

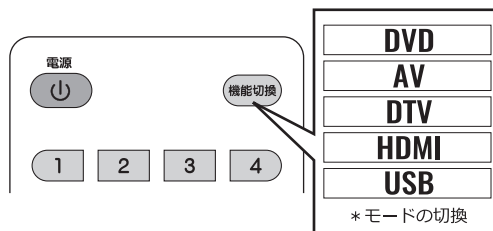
HDMI 入力 ● HDMI 入力用端子： 市販の HDMI ケーブルを使用して外部機器と接続する際に使用します。
(本機への入力専用端子です。本機から外部機器へのデータ出力はできません)
(HDMI ケーブルは付属しておりません。別途電気店などでご用意ください)
☞ パナソニックのレコーダーで音声が出ない現象は初期音声設定でデジタル出力にしてください。詳しくはメーカーに問合せください。

miniB-CAS ● miniB-CAS カードスロット： miniB-CAS カードは地デジ放送 (フルセグ) を視聴する際に常時挿入が必須のカードです。
(miniB-CAS カードの準備に関しては P.22~ をご参照ください)

USB 地デジ番組録画/再生専用スロット ● 録画用 USB スロット： テレビ番組の録画機能に関する専用のスロットです。こちらのスロットにパソコンなどから取り込んだデータの視聴・再生はできません。

入カソース (モード) を切り換える

- リモコン「機能切換」を押す
- 外部機器のモード切換え表示 (※数秒で消えます)
- 「▲/▼」で使用する外部機器にカーソルを移動して「決定」
- 接続した各外部機器からの入力ソースに切り換わります



注意

※「AV」モードおよび「HDMI」モードにすると本機は外部機器からの入力ソースのモニターとして作動します。外部機器の操作などは本機ではできません。

各種ファイルの再生

外部メモリーデータの再生

本機には静止画や動画などを再生するソフトを搭載しています。

外部メモリーデータ再生用スロット側に USB2.0 メモリーや HDD を接続し、入力モードを切り換えると搭載ソフトが起動してメモリー内に保存されているデータの再生などが行えます。

- 再生可能なファイル形式：
- * 静止画（拡張子）：JPEG(.jpg)/BMP(.bmp)
 - * 動画（拡張子）：MP4(.mp4)/WMV(.wmv)/AVI(.avi)/3GP(.3gp)
 - * 音楽（拡張子）：MP3(.mp3)/WMA(.wma)/WAV(.wav)/AAC(.m4a/.aac など)
 - * テキスト（拡張子）：テキストファイル (.txt)



注意

※上記ファイル形式でも高画質（高解像度）データや圧縮率・コーデックの不一致などで映像が出ない／音が出ない／読み込みできないなどが起こる場合があります。**注:全てのファイル再生の保証はしておりません。**
※記録された順序で再生されない場合があります。また記録状況により音飛びや読み込まない場合があります。



注意

■本機と接続して使用される外部メモリーのファイルシステム形式にご注意ください。
※本機で使用可能な外部メモリー（USB メモリーや HDD など）は＜FAT32 形式＞または＜NTFS 形式＞でフォーマットされたメモリーのみ使用できます。（FAT16 形式や exFAT 形式のメモリーは使用できません）



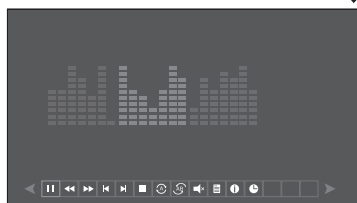
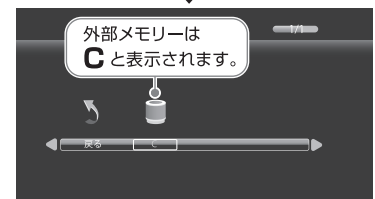
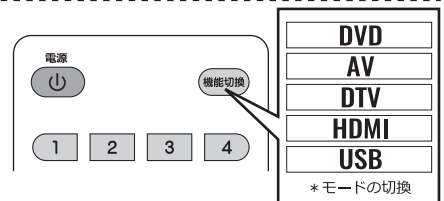
注意

※外部メディア（USB メモリーや HDD など）はメーカーや型式などによっては認識されない場合があります。この場合、他メーカーや型式の外部メディアで読み込み可能かをお試しください。
※外部メディアについての動作保証やサポートは行っておりません。予めご了承ください。

メモリー内のデータを再生する／削除する

- ① 本機の＜外部メモリーデータ再生用スロット＞にデータが保存されたメモリーを接続します。
- ② リモコン「機能切換」でモードを【USB】に切り換えます。
- ③ USB モードに画面を切り換えた後、
「◀」「▶」で再生したい項目に移動して「OK」を押します。
* 選択項目：静止画ファイル再生 / 音楽ファイル再生
/ 動画ファイル再生 / テキストファイル表示
- ④ 再生する項目を選択後「OK」を押すとデバイス項目に移動します。（* 選択項目：一つ前へ / [C]）
[C] を選択して「OK」を押すと読み込み可能なデータ（またはフォルダ）が表示されます。
- ⑤ 再生したいデータにカーソルを移動するとプレビュー画面でデータが再生されます。「OK」を押すと画面が切り換わり、本再生がスタートします。

- * 再生を停止する場合は「停止 (■)」
- * 一つ前に戻る場合は「戻る」



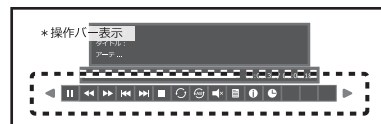
外部メモリーの再生（続き）

データ再生時の操作 <操作バー>

<操作バー>からデータの再生や一時停止などの操作が行えます。

データ再生中に、リモコンの「戻る」ボタンを押すと<操作バー>が消えます。

<操作バー>を消した後に「OK」ボタンを押すと<操作バー>が再度表示されます。



<静止画ファイル再生>



- ▶(II) 再生／一時停止 （＝【タイムシフト】ボタン） ◀◀ 前のデータへ移動 （＝【前へ】）
- ▶▶ 次のデータへ移動 （＝【次へ】） ■ 再生停止 （＝【停止】）
- 🔄 リピート再生設定 （＝【リピート】） ※ なし→1ファイル→すべて ↵
- 🎵 音楽設定 ※メモリー内に音楽ファイルがある場合、背景音楽の有無を選択
- 📖 プレイリスト：静止画（画像）ファイルとして認識したファイルをリスト表示
- ℹ インフォメーション：再生中データの情報表示
- 🔄 90度右回転：画像を90度右へ回転 🔄 90度左回転：画像を90度左へ回転
- 🔍 拡大ズーム：最大8倍拡大表示 🔍 縮小ズーム：最小1/4倍縮小表示
- 📐 ※Move View（※本機では使いません） ⚙ スライドショーの効果を切り替え

<音楽ファイル再生>



- ▶(II) 再生／一時停止 （＝【タイムシフト】ボタン） ◀◀ 早戻し （＝【早戻し】） ※再生 / 2x/4x/8x/16x/32x ↵
- ▶▶ 早送り （＝【早送り】） ※再生 / 2x/4x/8x/16x/32x ↵ ◀◀ 前のデータへ移動 （＝【前へ】）
- ▶▶ 次のデータへ移動 （＝【次へ】） ■ 再生停止 （＝【停止】）
- 🔄 リピート再生設定 （＝【リピート】） ※ なし→1ファイル→すべて ↵
- 🔄 A to B リピート：セット地点Aから地点Bまでの間をリピート再生させる設定機能
※セットなし→【決定】：A地点セット→【決定】：B地点セット&リピート設定→セットなし ↵
- 🔇 消音ミュート設定 （＝【消音】）
- 📖 プレイリスト：音楽ファイルとして認識したファイルをリスト表示
- ℹ インフォメーション：再生中データの情報表示 ⌚ 検索時間入力設定：データの再生スタート時間を設定

<動画ファイル再生>



- ▶(II) 再生／一時停止 （＝【タイムシフト】ボタン） ◀◀ 早戻し （＝【早戻し】） ※再生 / 2x/4x/8x/16x/32x ↵
- ▶▶ 早送り （＝【早送り】） ※再生 / 2x/4x/8x/16x/32x ↵ ◀◀ 前のデータへ移動 （＝【前へ】）
- ▶▶ 次のデータへ移動 （＝【次へ】） ■ 再生停止 （＝【停止】）
- 🔄 リピート再生設定 （＝【リピート】） ※ なし→1ファイル→すべて ↵
- 🔄 A to B リピート：セット地点Aから地点Bまでの間をリピート再生させる設定機能
※セットなし→【決定】：A地点セット→【決定】：B地点セット&リピート設定→セットなし ↵
- 📖 プレイリスト：動画ファイルとして認識したファイルをリスト表示
- ℹ インフォメーション：再生中データの情報表示
- ▶ スロー再生：【決定】を押すごとにスロー再生&倍速切換え ※再生 / 2x/4x/8x/16x ↵
- ▶▶ ステップ再生：【決定】を押すごとにコマ送り再生 ⌚ 検索時間入力設定：データの再生スタート時間を設定
- ⚙ 画面表示サイズ切換え：【決定】を押すごとに表示サイズ変更 ※自動 / 16:9 / 4:3 ↵

<テキストファイル再生>



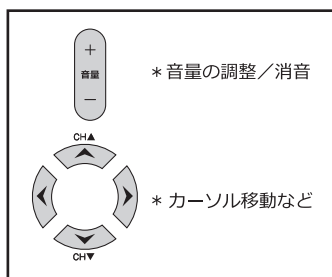
- ◀◀ 前のページへ移動 （＝【早戻し】） ▶▶ 次のページへ移動 （＝【早送り】）
- ◀◀ 前のデータへ移動 （＝【前へ】） ▶▶ 次のデータへ移動 （＝【次へ】）
- 再生停止 （＝【停止】）
- 🎵 音楽設定 ※メモリー内に音楽ファイルがある場合、背景音楽の有無を選択
- 📖 プレイリスト：テキストファイルとして認識したファイルをリスト表示
- ℹ インフォメーション：再生中データの情報表示

不可機能使用時のリモコン操作／各種設定

以下、外部入力（AV/HDMI/USB）各モード時の主なリモコン操作や画面表示上メニューから行える各設定項目の詳細などについての説明をご案内いたします。

各外部入力時の
主なリモコン操作
対応ボタン

* 設定メニュー

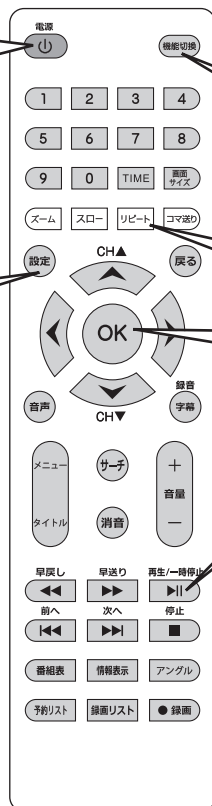


* 音量の調整／消音

* カーソル移動など

設定メニュー

* 電源の ON / OFF



DVD

AV

DTV

HDMI

USB

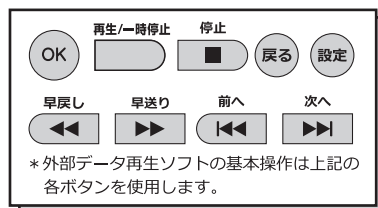
* モード切替（P.24）

* リピート再生の設定

* 各種設定の実行

* 各データの再生の実行

* データ再生／一時停止（▶/||）



* 外部データ再生ソフトの基本操作は上記の各ボタンを使用します。

- 映像：
 - ① 画面モード選択（標準／ソフト／ユーザー／ダイナミック）
 - ② コントラスト（0～100）
 - ③ 明るさ（0～100）
 - ④ 色彩（0～100）
 - ⑤ シャープネス（0～100）
 - ⑥ 色調（0～100）
 - ⑦ 色温度（標準／暖色系／寒色系） ※低いと暖色系、高いと寒系になります。
 - ⑧ アスペクト比（自動／4:3／16:9） ※リモコンの「画面サイズ」ボタンと同じ機能です。
 - ⑨ ノイズリダクション（標準／切／弱／強／自動）

※②から⑥の設定を任意で変更すると、画面モード選択は【ユーザー】に変更されます。
 ※②から⑥の設定はメインの画面を確認しながらおこないます。リモコンの「設定」ボタンで元のメニュー画面に戻ります。
- 音声：
 - ① 音声モード選択（標準／音楽／映画／スポーツ／ユーザー）
 - ② 高音（0～100）
 - ③ 低音（0～100）
 - ④ バランス（-50～0～+50）
 - ⑤ 自動ボリューム（オフ／オン）
 - ⑥ サラウンド（オフ／オン）

※②から④の設定を任意で変更すると、音声モード選択は【ユーザー】に変更されます。
- 時間：
 - ① 日時設定（設定の順番は、日・月・年・時・分）
 - ② オフタイマー（切／1回だけ／毎日／月～金／月～土／土・日／日曜のみ）選択後、【時間設定】
 - ③ オンタイマー（切／1回だけ／毎日／月～金／月～土／土・日／日曜のみ）選択後、【時間設定】
モード選択後ボリューム設定
 - ④ スリープタイマー（オフ／10分／20分／30分／60分／90分／120分／180分／240分）
 - ⑤ オートスリープ（なし／4時間／6時間／8時間）
- 設定：
 - ① 言語／Language（日本語／英語）
 - ② 工場出荷時設定（実行しますか？「はい／いいえ」）

各種メディアに録音する

本製品は音楽CDの音源をUSBメモリーに録音することができます。



著作権について:注意事項

CDなどの音楽作品は、著作権法により保護されています。したがってそれらを録音したものを販売、配布また譲ったり貸し出したりする場合や営利目的のために使用する場合は、権利者の承諾が必要です。詳しい内容や申請、手続きについては『(社)日本音楽著作権協会 (JASRAC)』までお問い合わせください。

USBメモリーに録音する

1. メディアをセットする

USBメモリーをセットしてください。
音楽CDをセットし再生してください。

2. 録音オプションを設定する

読み込み後、リモコンの『字幕／録音^{録音}字幕』ボタンを押すと録音設定画面が表示されます。

○録音設定画面

CD 録音			
オプション		トラック	
①	速度 標準	track01	05:00
②	ビットレート 128Kbps	track02	05:00
③	ID3情報 する	track03	05:00
④	メディア USB	track04	05:00
録音情報		track05	05:00
⑥	トラック 0	track06	05:00
	タイム 00:00	track07	05:00
		▼	
開始 戻る		すべて選択	すべて取消
⑨		⑩	⑦
		⑧	

(1) リモコンの ▲・▼・◀・▶ ボタンでカーソルを移動し、『決定』ボタンを押して速度、ビットレート、メディアの設定を選択します。

① 速度…

カーソルで選び『決定』ボタンを押すごとに録音スピードを切り換えられます。
『標準』・『倍速』
標準録音スピード状態では、ファイルを録音と同時に再生します。
倍速録音スピード状態では、消音で録音します。

③ ID3 情報…

設定メニューはありますが、本機でこの機能はご利用いただけません。

⑤ トラックリスト…コピー元に収録されているトラックのリストです。

⑦ すべて選択…収録されているすべてのトラックを選択します。

② ビットレート…

カーソルで選び『決定』ボタンを押すごとにビットレート（圧縮率）を切り換えられます。
96Kbps～112Kbps～128Kbps～
192Kbps～256Kbps～320Kbps
この数値が大きいほど、音質はよくなりますが変換後のファイルサイズは大きくなります。

④ メディア…

「USB」と「なし」が切り換わります。

⑥ 録音情報／トラック・タイム…

選択されたファイル総数、総再生時間

⑧ すべて取消…選択されているトラックをすべて解除します。

各種メディアに録音する

(2) リモコンの ▲・▼・◀・▶ ボタンでカーソルを移動し、『決定』ボタンを押して選択／非選択します。
選択中の曲の左側に✓のマークが表示されます。

○トラック選択画面

CD 録音			
オプション		トラック	
速度	標準	✓ track01	05:00
ビットレート	128Kbps	✓ track02	05:00
ID3情報	する	track03	05:00
メディア	USB	track04	05:00
録音情報		track05	05:00
トラック	2	track06	05:00
タイム	10:00	track07	05:00
		▼	
開始	戻る	すべて選択	すべて取消

3. 録音する

選択が完了したら、カーソルで開始を選び、『決定』ボタンで録音を開始します。

録音中は録音状況が表示されます。録音中に『キャンセル』上にカーソルがあることを確認し、『決定』ボタンを押すと録音が中止されます。

録音完了後はカーソルで終了を選び、『決定』ボタンを押します。

○録音中の画面

CD 録音			
録音中		トラック	
トラック	進行状況	track01	done
		track02	30%
トータル	進行状況	track03	05:00
キャンセル			
録音情報			
録音中			
トラック	01 / 02		

※録音中は音量の操作ができません

※USBメモリーに空き容量がないと「Device FULL」と表示され、記録できません。

※録音がキャンセルされて、途中までのファイルは保存されます。

※本機ではフォルダ名、ファイル名は入力できません。

※録音中、本機に振動を与えたり、デバイスを抜くとエラーが表示されます。

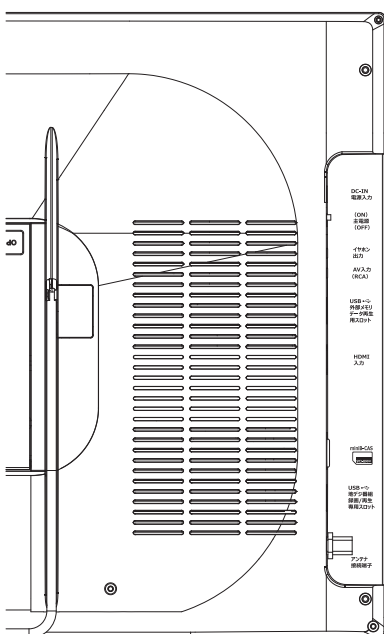
その場合は、一度電源をOFFにし、再度電源をONにしてください。

※録音されたファイルは全ての再生を保証するものではありません。

録音された音楽ファイルはMP3で記録され『RIPPING』というフォルダに保存されます。

外部機器と接続する

接続のしかた

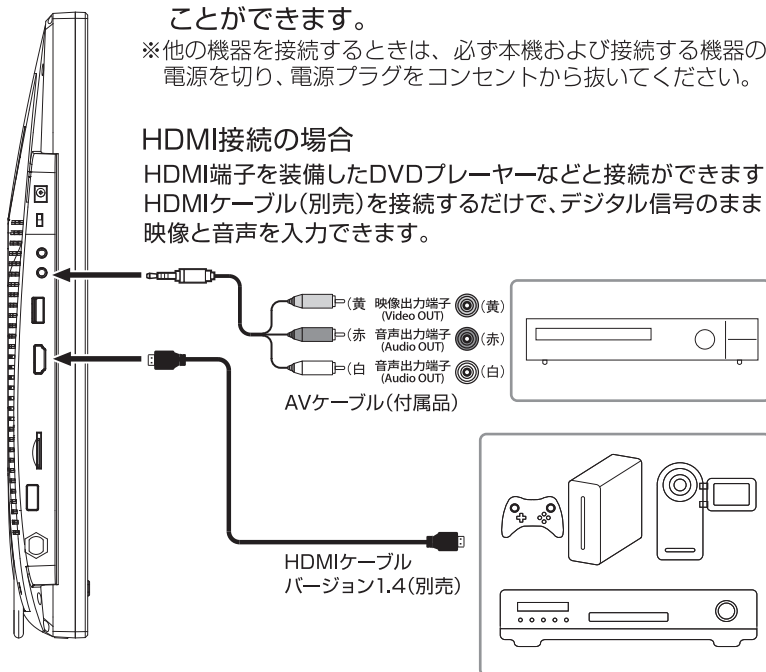


●本機では外部機器で再生する映像・音声を視聴することができます。

※他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

HDMI接続の場合

HDMI端子を装備したDVDプレーヤーなどと接続ができます。HDMIケーブル(別売)を接続するだけで、デジタル信号のまま映像と音声を入力できます。



機能を切り換えて、外部機器の内容を視聴します。

機能切換

本体：機能切換ボタンを押す→「HDMI」または「AV」を選択→外部入力視聴モード

リモコン：機能切換ボタンを押す→「HDMI」または「AV」を選択→外部入力視聴モード



注意

※外部機器の設定については、お使いの外部機器の取扱説明書をご参照ください。

※水回りでは使用しないでください。

※接続先の機器によっては映像が正しく表示されない場合があります。

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。それでも異常があるときは使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。本機において、ゲーム機などからの映像信号、バージョンなどによって映像が映らない場合があります。あらかじめご了承ください。

こんなとき		ここをお調べください
電源	電源が入らない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ・内部処理を行っているために操作への反応が遅い場合があります。 ⇒約1分ほどお待ちになってから再度電源を入れてください。
	急に電源が切れた	・オフタイマーが設定されていませんか？ ⇒再度電源を入れ、同じ症状が起こらないか確認してください。
リモコン	リモコンで操作できない	・リモコンの乾電池が消耗していませんか？ ・乾電池のプラス／マイナスが逆になっていませんか？ ・テレビのリモコン受光部に正しく向けて操作していますか？ ・テレビのリモコン受光部に強い照明や直射日光が当たっていませんか？ ・リモコンとテレビの間に遮蔽物はありませんか？ある場合は取り除いてください。
	チャンネル▲▼ボタンで特定のチャンネルだけ選局できない	・編成チャンネルを視聴している可能性があります。 数回ボタンを押してください。同じ番組が放送されている場合があります。
テレビを見ているとき	映像も音声も出ない	・アンテナ線が外れていませんか？ ・接続されていない入力先などに切り換えられていませんか？ ・外部機器の接続ケーブルが外れていませんか？ ・P.21「初期設定」を実行してください。
	映像は出るが、音声がでない	・消音状態になっていませんか？ 音量が0になっていませんか？ ・ヘッドホン端子にヘッドホンなどが接続されていませんか？ ・HDMIケーブルなどを映像入力に使用しているときには、音声ケーブルを別に接続しなければならない場合があります。
	ビデオを見ているときに、片側のスピーカーから音声がでない	・音声に関係する入力端子の接続ケーブルが外れていませんか？ ・音声端子がしっかりと挿入されているか確認してください。
	音声に異音が入ったり映像にノイズが出る	・本製品の近くで携帯電話などの無線機器を使用していませんか？ ⇒携帯電話などを離してお使いください。 ・アンテナの向きがずれていませんか？ ・受信電波信号が弱い状態ではありませんか？（受信レベルを確認）
	映像が悪い	・アンテナ接続コネクターが外れていませんか？ ・アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか？ ・アンテナが風で壊れたり、曲がったり、向きがずれたりしていませんか？ ・近くで落雷や電波障害などが起きていませんか？ ・1本のアンテナ線を複数のテレビやレコーダーに接続していませんか？ ・近くで電磁波を出す家電製品を使用していませんか？ ・映像を正しく調整されていますか？ ・チャンネルは正しく設定されていますか？ ・受信電波信号が弱い状態ではありませんか？

こんなとき		ここをお調べください
テレビを見ているとき	映像が悪い	・編成チャンネルを視聴している場合があります。 チャンネルボタンを数回押す、または他チャンネルへ切り換えてください。 ・地域設定を正しく設定していますか？ お住まいの地域によっては、該当する地域よりも近隣の地域へ変更することで視聴できる場合がありますのでお試しください。 ・チャンネルが変更されていませんか？ 製品出荷時以降にチャンネルが変更されている（放送局や中継局が増設される等）場合には、チャンネルの再設定が必要な場合があります。
	色縞模様が出ない 色が消えない 縦線状の妨害が見えない	・アンテナやアンテナ端子への妨害電波の影響が考えられます。 ⇒地上波放送のアンテナ線の接続には、同軸ケーブル（市販品）をお使いください。 ⇒アンテナの高さや向きを調整すれば、妨害電波をある程度少なくできます。 ・外部機器からの入力映像を見ている場合は、接続や設置場所を確認してください。
	色がうすい 色合いが悪い	・地上アナログ放送時に放送されていた番組などの再放送を視聴する場合には、画像が著しく悪く見えることがあります。製品に問題はありません。 ・映像設定は正しく調整されていますか？ ・チャンネルは正しく設定されていますか？ ・各映像端子の接続は確実ですか？
	画面が暗い	・省エネモードが「中」や「高」に設定されていませんか？ 省エネモードを「オフ」に設定すると明るくなります。 ・映像モードが変更されていませんか？ ・映像の調整は正しいですか？ ・映画を視聴する時には暗い画面が見えにくくなる場合があります。
	デジタル放送が映らない	・miniB-CASカードは正しく挿入されていますか？ ⇒miniB-CASカードを正しく挿入しないと、地上デジタル放送は視聴できません。 ・miniB-CASカードのIC部分が接触不良（埃、塵、結露、サビ）の場合には何度か挿入し直すと視聴できる場合があります。カードが折れたり、曲げたり、欠けたりすると使用できなくなります。丁寧に扱ってください。 ・デジタル設定内のminiB-CAS情報にエラーが表示された場合は、P.22に記載してある憐ビーエスコンディショナルアクセスシステムズへ問い合わせください。
	地上デジタル放送が受信できない	・お住まいの地域は、地上デジタル放送の対象エリアですか？ ・UHFアンテナは、地上デジタル放送の送信施設に向けていますか？ ・地上デジタル放送の有効な放送局/中継局がアナログ放送時から変更されている場合があります。 ・お住まいの地域の放送局/中継局を確認してください。 ・チャンネルが変更がされた可能性があります。 ・再度「地デジ自動設定」（チャンネルスキャン）を行ってください。 ・地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをご使用ですか？

こんなとき		ここをお調べください
DVD を見ているとき	画面が映らない	・テレビの入力切替は、「DVD」になっていますか？ ・電波を発生する機器の近くで使用していませんか？
	映像は出るが、音が出ない	・消音状態、または音量が0になっていませんか？ ・ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれたままになっていませんか？ ・ディスクに変形や破損、傷や汚れがありませんか？
	再生ができない	・ディスクが正しくセットされていますか？ ・ディスクに変形や破損、傷や汚れがありませんか？ ・再生可能なディスクですか？ ・本機の内部が結露していませんか？ ⇒ディスクを取り出し、本機を1時間以上放置して乾燥させてください。
	音声や映像が乱れる	・ディスクに汚れ、キズがある。 ⇒ディスクの汚れをふきとってください。 キズのついたディスクは使用しないでください。 ・振動の生じるところで使用している。 ⇒本機に振動が加わると、音とびをしたり、映像が乱れることがあります。 振動が止まると、通常の動作に戻ります。
	音声/字幕の切替ができない	・再生しているディスクに複数の音声、字幕が記録されていない可能性があります。
	画像が縦または横に伸びる	・テレビの画面サイズは正しく設定されていますか？
	ディスクが入っているのにディスクなしと表示がでる	・ディスクが裏返しになっていませんか？
その他	番組の録画できない 録画データの視聴ができない ... など	・本機と接続した録画用メモリーのファイルシステム形式は本機に対応した形式になっていますか？ →本機対応ディスク形式：「FAT32」 ・録画用メモリーの空き容量は足りていますか？ ・保存されたデータが壊れていませんか？ ※外部メディアについての作動保証およびサポートは行っておりません。
	外部メモリーのデータが再生できない	・本機と接続した録画用メモリーのファイルシステム形式は本機に対応した形式になっていますか？ →本機対応ディスク形式：「FAT32」 ・保存されているデータが壊れていませんか？ ・外部データのファイル形式が本機に対応した形式で保存されていますか？ →拡張子：(.jpg) など ※外部メディアについての作動保証およびサポートは行っておりません。

その他の情報

■カードエラーについて

本製品はminiB-CASカードを挿入して使用します。miniB-CASカード関連のエラーメッセージが表示されたときは、以下を確認してください。

- ・miniB-CASカードは正しく挿入されていますか？ ⇒ P22「miniB-CASカードの準備」をご覧ください。
- ・カードスロットにホコリがたまっていますか？
⇒市販のエアダスターなどを使用して、miniB-CASカードスロットを清掃してください。
- ・miniB-CASカードでないカードを挿入していませんか？ ⇒miniB-CASカードを挿入してください。

■EWS（緊急警報放送）について

地上デジタル放送を視聴中にEWS（緊急警報放送）を受信すると、画面に「緊急警報放送を受信しました」と表示されます。このときに決定ボタンを押すと緊急警報放送が視聴できます。このメッセージはチャンネルを変えても表示されます。緊急警報放送を視聴した後、または表示しているメッセージを消す場合は【戻る】ボタンを押してください。

EWS（緊急警報放送）とは：地震津波などの災害発生時に、放送波に特殊な信号を割り込ませることでテレビやラジオなどの受信機から警報音（ピロピロという音）を発し、災害の発生と災害情報をいち早く知らせるための放送です。

人命や財産に重大な影響のある次の3つの場合に限って放送されます。

- 1) 大規模地震など災害についての警戒宣言が発せられた場合。
- 2) 津波警報が発せられた場合。
- 3) 地方自治体の長から、避難命令などの放送の要請があった場合。

本製品は地震や津波などの災害発生時に発信される緊急警報放送の文字スーパー表示に対応しています。緊急警報放送を受信することによる本製品の自動起動には対応しておりません。米軍基地周辺のAFN（米軍放送）の緊急告知放送には対応しておりません。

■ダウンロードについて

- ・本機はソフトウェアのアップデートや機能改善を行う必要がある場合には、地上デジタル放送電波からプログラムをダウンロードしてソフトウェアを書き換えます。
- ・メッセージがテレビ画面に表示されましたら、ダウンロードを実行するために電源を接続して待機状態にしてください。
- ・ダウンロードを実行するための受信レベルの目安は60%以上です。
- ・ダウンロードは、本機が電源オフ状態（待機状態）のときのみ実行されます。
- ・ソフトウェアアップデートのお知らせにある時間の前後30分は待機状態にしておいてください。
- ・ダウンロードが実施される前にはメッセージが表示されます

■液晶パネルの特徴について

- ・液晶パネルは構造上、非常に高精度な技術で作られており99.99%以上の有効画素数を実現していますが、ごくわずかに画面の一部に光らない点（画素欠け）や周囲と異なる色が点灯したままの点（輝点）が存在する場合があります。これは故障ではありませんので予めご了承ください。
- ・液晶パネルは長時間同じ画像を表示していると残像（画面焼けの様な症状）が出たり、液晶パネルの寿命を縮めてしまう可能性があります。ご使用にならないときは必ず電源をお切りください。

■本製品を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- ・本製品の譲渡または廃棄の際は、個人情報保護のためにデジタル受信設定などの個人情報の消去を行ってください。
- ・ゴミ廃棄場で処分されるゴミの中に本製品を捨てないでください。廃棄の際は地方自治体の条例または規則に従ってください。
- ・miniB-CASカードは破棄せずに（株）ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズまで返却してください。

■アナログ放送について

- ・本機はアナログ放送（地上/衛星CATV放送）については視聴できません。

■HDMI連動機能について

- ・本機とテレビ等をHDMIで接続することで一部連動動作ができることがあります。その動作については保証致しかねます。

■取扱説明書について

- ・記載されている内容は、実際に表示される画面と文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際の画面をご確認ください。
- ・記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。

製品仕様

品名	22V型 フルハイビジョン 録画機能付き DVD搭載 ポータブルテレビ		
品番	OT-TVD22TE		
電源	ACアダプタ 入力AC100-240V 50/60Hz 出力DC12V 3.0A、		
	カーアダプタ 入力DC 12V 出力DC 12V 3.0A、		
	内蔵充電池(バッテリー)DC7.4V/5000mAh/37Wh、		
	充電時間約7.5時間(電源切状態)、連続視聴時間:約2時間		
待機電力	<0.5W		
消費電力	28W(ACアダプタ使用時)		
入力端子	アンテナ入力端子×1(地上デジタル)、miniB-CASカードスロット×1、		
	USB端子(録画用)×1、AV入力端子×1、HDMI端子×1(Ver.1.4)、		
	USB端子(外部メモリ データ再生 /CD録音)×1		
出力端子	イヤホン端子×1(ステレオミニピン3.5mm)		
受信周波数	UHF470MHz-770MHz(UHF13-62ch)(CATV:C13-C63)		
	※インターネット回線を利用した地デジ受信環境には非対応		
液晶パネル	サイズ:21.5インチ	アスペクト比: 16:9	
	解像度:1920×1080	コントラスト比: 1000:1	
	応答速度:14ms	視野角: 140° ×140°	
メディア再生	動画:MP4・WMV・AVI・3GP・RMVB/MVB 画像:JPEG・BMP		
対応フォーマット	音声:MP3・WMA・WAV・AAC テキスト:TXT		
再生可能ディスク	DVD、DVD-R/RW、CD、CD-R/RW、DVD-VIDEO		
対応フォーマット	DVD-VR(CPRM)、CD-DA、JPEG、MP3		
対応外部メモリ容量 (HDD/USB メモリ)	地デジ録画用ポート:~500GB推奨 ※1TBまで動作確認済み		
	データ再生(録音)用ポート:~32GBまでのメモリを推奨		
スピーカー出力	3W×2		
リモコン到達距離	3m以内(本体リモコン受光部正面から)		
許容温度範囲	0~40℃		
外形寸法	約(幅)506×(奥行)45×(高さ)333mm		
本体質量	約3.2kg		
付属品	リモコン(リモコンテスト用単4形乾電池×2)、AVケーブル、簡易アンテナ、		
	ACアダプタ、カーアダプタ、イヤホン、miniB-CASカード、取扱説明書兼保証書		

※本製品は電子番組表(EPG:約8日分)と字幕・文字スーパー放送に対応しております。
 ※本製品の保証内容は、保証書に記載されている保証規約に準じています。
 ※ケーブルテレビ(CATV)を使用される場合、ケーブルテレビなどの取扱説明書を併せてお読みください。
 ※リモコンにセットされている付属の単4形乾電池は動作確認用です。
 ※この製品は日本専用です。
 ※HDMI端子はARC(オーディオ・リターン・チャンネル)またはCEC(機器間で制御信号をやり取りするリンク機能)に対応していません。
 ※本製品仕様は、改良等のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

保証規定・アフターサービス・免責事項

弊社では社会情勢やその他の事情によって保証規定及び保証内容を変えさせていただいておりますので常に直近の規定、内容を適用させていただきます。予めよろしく願いたします。

- ・地震や雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して弊社は一切の責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ・取扱説明書や保証書の記載を守らないことによって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ・他の接続機器との組み合わせによる誤動作や動作不能誤動作などから生じた損害（接続したテレビや外部録画メディアなどの故障、録画内容の変化・消失など）に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ・故障や修理のときに本機へ記憶された利用者の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化、消失した場合の損害や不利益について、弊社は一切責任を負いません。

- 保証期間はご購入日より1年間です。
- 保証は本体のみです。付属品は保証対象外です。
- 液晶画面のドット抜け、飛びは交換及び返品及び修理も製品の性質上一切お受けできません。
- テレビ電波は非常に難しい電波でアンテナの向きが風などで少しずれただけでも映りません。電波環境、地域(電界強弱)、やアンテナの能力によっても視聴できない場合があります。お客様の電波環境に関して弊社ではサポートや保証は一切していません。
- マンションなど共同アンテナやケーブルテレビ等をお使いで受信しない場合は、住居やビルの管理者やご契約のひかりTVやケーブル会社にご相談ください。
- 販売(返品や交換など)に関しましては弊社では対応しておりませんので、ご購入上げ店に、お問い合わせください。
- 弊社と未取引先でのご購入の場合はご購入上げ店での対応となる場合があります。
- 修理の場合は交換パーツが変わる場合があります。
- 弊社は検品後出荷しておりますが流通過程におきまして稀に不具合が生じる場合があります。その場合、初期(ご購入日より1週間)でありましても、まず弊社にて点検・検証させていただいた後の対応となります。不具合の場合でも基本的には修理対応となりますので何卒ご了承ください。その場合大変お手数をかけますが、予めよろしく願いたします。
- 運送中の損傷や不具合発生が明らかに分かる場合(梱包材やパッケージの傷やへこみ等)は直接運送業者に弁償などの申し立てをお願いします。

次の場合は保証期間でも有償修理対応となります

- 1, 保証書のご提示が無い場合。また保証書内の不備（ご購入上げ店、日にち不明他次頁保証書欄参照ください）
- 2, 使用時に起きたキズ、色あせ、汚れ等、保管時の不備で起きた損傷
- 3, 誤った使用、不当、修理、改造、分解で生じた故障または損傷
- 4, 振動・衝撃・埃・粉塵がある所、高熱、太陽光があたる場所、高湿気油脂を使用する所や近辺、虫が多い所や発生しやすい場所等々、本機精密機器に適さない場所やその周辺での使用や保管での不具合発生。
- 5, お買上げ後の落下、故意による破損。輸送・運送等で生じた故障や損傷。
- 6, 火災、地震、落雷、天災地変、水害、塩害、その他の災害、高熱、光や異常電圧による故障損傷、変圧器や非対応電圧の機器に接続しての故障損傷、他の非対応接続機器等を使用しての故障損傷
- 7, 一般家庭用以外（業務用、連続長時間使用）での使用での故障、損傷
- 8, 車載専用ではありません。ヘッドレスト用バック装着で後部座席の人の視聴以外で生じた故障、劣化、損傷
- 9, 個人間での売買、譲渡のものに関しては保証致しかねます（オークションやメルカリ等、中古品も含む）
- 10, 新品と交換した場合や修理した場合は無償保証は原則1回限りとなります※以降の修理は有償となります
- 11, 保証期間が過ぎているが修理によって機能回復するもの
- 12, その他修理で依頼時に使用の方法、環境その他に虚偽が判明した場合

使い方や修理のご相談など

※弊社出張修理サービス等は行っておりません。修理・点検ご希望の際は次頁サポートセンターへご相談ください。修理ご依頼の場合はご購入上げ店に、原則はお持ち込みとなりますが、送付の場合は次頁をご覧ください。

廃棄時のご注意

- 家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの家電製品を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

部品の保有年数に関して

- 修理品の部品保有年数は製造日より5年間をメドにしておりますが、在庫が無くなり次第終了となります。

保証書

品番：OT-TVD22TE 品名：22V 型 フルハイビジョン 録画機能付き DVD 搭載 ポータブルテレビ	
お名前 ご住所〒	電話番号
販売店 住 所 電話番号	印
お買い上げ日 西暦 年 月 日 保証期間 お買い上げ日より1年間(本体のみ)	係 名 備 考

この度は弊社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
重要な規定、告知、注意点がありますので必ず前ページと下記をお読みください。

テレビ電波受信につきましては保証はしておりません。*本書内ご参照 チューナーの不良以外は修理受付はできません。

- 1, 本書保証書は再発行はしませんので大切に保管してください。
- 2, 上部記入・押印欄に不備がありますと保証期間でありましても有償修理となります(前頁ご参照)。
 - ・お買い上げ日や販売店名の手書きのみは無効です。お買い上げ店の印も原則必要となります。
 - ・品番、日にちが証明できるレシート、伝票、納品書等他上記が揃っていない場合はお買い上げ店にお申し出て必ず入手してください。ネットで購入した際のメールは保存しておいてください。
- 3, 修理の場合※本書と販売が証明出来る書を提示してください。提示が無い場合は有償となります。以下注意事項
 - ・店頭でお買い上げ→販売店に持込み修理依頼となります(流通経路を経て弊社に届きますので日数は要します)。
 - ・ネットで購入他、弊社に直接送って頂けるのが可能でしたら初期(お買い上げ日より1週間以内)以外はお客様元払い運賃のみ受付させていただきます。ご注意!! ①着払いの場合は受付できません。

⚠ ②北海道、沖縄、離島、当サポートセンターより遠隔地、弊社契約運送業者の路線便が無い地域は初期不具合でも往復運賃はお客様のご負担となります。
- 4, 修理を依頼される場合は保存された大事なデータやファイルは必ず事前バックアップして下さい。弊社で復元や複製及びバックアップの作業は一切行っておりません。
- 5, 修理作業の際、工場出荷時に戻す場合がありますので、設定値等は事前メモしてください。
- 6, 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty valid only Japan
- 7, 他社製品との接続互換性や設置方法などはサポートしておりません。

修理をご依頼をされる場合はご使用の方法や環境等は検証のため正確に知らせていただくようお願いします。

下記センターは使用方法、修理のお問合せや依頼。その他付属品に関するお問い合わせを受付しております。
その他はお買い上げ店にお問い合わせしてください。

修理のご依頼前に本書内の該当ページや「トラブルシューティング」を今一度お読みください。

販売元：ダイヤモンドヘッド株式会社 〒108-0073 東京都港区三田2-7-13 TDS三田ビル 6F

お客様サポートセンターのご案内

製品に関するお問い合わせ窓口

0570-02-1184

受付時間：10時～17時
※通話料はお客様のご負担となります。
(土、日、祝日、および弊社指定休業日を除く)
〒331-0811
埼玉県さいたま市北区吉野町1-359-32

●ホームページからのお問い合わせ
<http://www.tsnetwork.jp/support/>
からもお問い合わせいただけます。

<個人情報の取扱いにつきまして>保証書にご記入いただいた個人情報につきましては本製品保証に関わる業務においてのみ利用します。尚、本目的遂行のために製造工場に提供することがあります。